

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2017年 春号 vol.17



▲多職種のスタッフが一丸となって、安心の医療をお届けします。

特集 血液疾患ってどんな病気？

がん診療コーナー 腎細胞のがん

お知らせ 新任医師のご紹介！

もっと知りたい リハビリテーション部（作業療法士）

地域の絆 いけだ整形外科

内山医院

2017.5.15 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念

安心の優しい医療を提供し、
市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。

特集

血液疾患ってどんな病気？

血液内科 医長 久保 安孝

血液内科のご紹介

平成24年11月から血液内科医師1名の常勤体制が整い、血液内科病棟を6階東病棟の一部で稼働しております。

具体的な病気は、よく女性にみられる鉄欠乏性貧血などから、再生不良性貧血、骨髓異形成症候群などの専門的な治療が必要な貧血、血液細胞が腫瘍化（がん化）した白血病、リンパ腫、多発性骨髄腫などの悪性疾患など広い範囲にわたっており、多くは専門家の診察が必要です。



当科では、血液疾患を正しく診断し、最も確かな治療をお勧めするよう努めています。

長い間、血液疾患は難治性のものが多かったのですが、最近では分子標

的治療などの進歩により、多くの疾患が改善するようになってきました。この流れに乗るように当院も様々な分子標的治療薬をはじめとする最新薬を採用しています。（残念ながら依然として難治性の疾患もあります。）

主な血液疾患について

急性白血病

全国200前後の血液内科拠点病院で構成されている Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG: 日本成人白血病研究グループ) の全国共通のプロトコル（標準治療法）を用いて治療を行います。

また再発・難治例の造血幹細胞移植が必要な症例では、速やかに HLA (Human Leukocyte Antigen) II ヒト白血球抗原（適合ドナーを検索し、関連病院の北九州市立医療センター、九州大学病院をはじめとしたその他の医療施設へご紹介をいたします。



▲白血病治療時は、真菌感染症予防のため、準クリーンルームにて治療を行います。

慢性骨髄性白血病

分子標的薬であるイマチニブ、ニロチニブ、ダサチニブを用いて最新の治療を行います。

2011年より初発慢性骨髄性白血病慢性期に対してもニロチニブ、ダサチニブが保険適応となり、当院では積極的にこれらの新規分子標的薬を初発時から用いて治療を行っています。

悪性リンパ腫

悪性リンパ腫は60種類ものタイプに細分類され、それぞれ治療法が異

診療・治療に対する

心がけ



●地域に根付き、この地域の血液疾患で苦しんでおられる患者さまのために、最善を尽くします。

●疾患名とその病型診断を正確に行います。それに基づく治療の最新のエビデンス（治療選択における臨床試験から導き出された科学的根拠）を提示させていただいたうえで、患者さまからの同意を得て、確立された標準治療を第一に行います。

●標準治療の成績が不十分と判断される場合には、より先進的な医療を受けていただくべく、関連施設である北九州市立医療センター、九州大学病院をはじめとしたその

なるため、タイプに応じた適切な治療を行っています。

特にCD20陽性B細胞リンパ腫に對しては分子標的薬であるリツキシマブを組み合わせた化学療法を行い良好な成績が得られております。

再発・難治性低悪性度リンパ腫に對しては、新規薬剤であるベンダムスチンを使用し優れた効果を認めています。

多発性骨髄腫

多発性骨髄腫は難治性造血器腫瘍ですが、近年新規薬剤の登場により治療成績が向上しています。

当院では新規薬剤であるボルテゾミブ、レナリドミド、サリドマイドおよびポマリドマイドを積極的に取り入れています。

65歳以下の初発の方は、新規薬剤を組み合わせてつつ当科で大量化学療法を行った後に自家末梢血幹細胞移植を行うため、関連施設へのご紹介をさせていただき、移植終了後に、再度当科にて維持療法を積極的にを行っています。

66歳以上の移植非適応の方は、治療前に高齢者機能評価を行った上で、一人ひとりの患者さまの全身状態に合わせた適切な治療法を選択する個別化治療を行っています。

骨髄異形成症候群

高齢の方に多く、造血不全により高度の血球減少をきたします。高齢の方は外来で定期的に輸血療法を行っています。

2011年より新規治療薬であるアザシチジンが使用可能となり、症例に応じてアザシチジンによる治療も導入しています。

再生不良性貧血

シクロスポリンなどの免疫抑制療法や蛋白同化ホルモンによる治療を行います。

重症例ではATG（サイモグロブリン）による治療や、若い方の場合は造血幹細胞移植を行います。高齢の方は定期的な輸血療法を行います。

特発性血小板減少性紫斑病

ピロリ菌陽性である場合、まずピロリ菌の除菌療法を行います。

除菌療法の効果のない患者さまやピロリ菌陰性の患者さまでは、第一に副腎皮質ステロイドが使われ、血小板数や症状をみながら徐々に減量していくのが一般的です。

副腎皮質ステロイドが無効な場合や、副作用のために治療の継続が困難な時には、手術で脾臓を摘出することもあります。

2011年より新たな治療薬として経口薬であるエルトロロンボパグと皮下注射剤であるロミプロスチムの2種類が発売となり、優れた効果が示されています。

地域の先生方へ

いつも患者さまをご紹介いただき、誠にありがとうございます。

当初の治療が終わり、病状がある程度安定した患者さまにつきましては、病診連携の観点から先生方に経過観察をお願い申し上げることがあると思います。その際は、どうぞよろしくお願いいたします。

平成28年 疾患別入院患者数

悪性リンパ腫	27	慢性骨髄性白血病	2
多発性骨髄腫	10	骨髄増殖性疾患	2
骨髄異形成症候群	5	成人T細胞性白血病	1
鉄欠乏性貧血	4	特発性血小板減少性紫斑病	1
急性骨髄性白血病	3	その他	38
再生不良性貧血	3		

【平成28年1月～12月：合計 96名】

他の医療施設へご紹介させていただくこともあります。

● 一般には疾患の完治を目指しますが、状況によってはQOL (quality of life: 生活の質) を重視した医療を行うこともあります。

● どのような状況でも患者さまと対話しながら、安全かつ納得のいく医療を提供します。

● 毎週、科内カンファレンスを行って情報を共有し、医師、看護師、栄養士、薬剤師等と協議のうえ治療方針を決めていきます。

● 当院は他科との連携もスムーズであり、血液内科の患者さまが他科領域の合併症を起こした際も、速やかに対応を行います。

● 外来化学療法にも取り組んでおり、入院、外来いずれにおいても患者さまの生活の質の維持・向上に十分な配慮をし、今後も改善を継続していきます。



▲ 外来化学療法

腎細胞がんとは？

腎臓は、へその高さよりやや上方の背中側に位置し、約12×5cm、120g程度の左右一對のソラ豆形の臓器で、血液をろ過し、尿を作る働きをします。成人の腎臓にできるがんでもっとも頻度の高いものが腎細胞がんです。年齢的には40歳代より増加し、50～60歳で最も多く発見されています。また、男女比は2対1と男性の方に多い病気といえます。危険因子としては、肥満・高血圧・喫煙などがあります。

症状と診断

自覚症状は、がんが小さいうちはあまりなく、大きくなると古典的な3つの兆候（肉眼的血尿、腹部のしこり、腰背部痛）を認めることがあ

ります。腎細胞がんが疑われた場合には、腹部超音波検査（人間ドックでも行う）や造影CT検査が行われ、癌の有無については、ほぼ全例で診断可能です。さらに詳細な進行度を診断する目的で行うMRI検査や骨転移検索のために骨シンチが行われます。

腎細胞がんの治療

腎臓に限局した腎細胞がんに対する治療の基本は外科的切除で、根治的腎摘除術もしくは腎部分切除術が行われます。

近年では術後の腎機能が生命予後に大きな影響を及ぼすことが分かっており、できるだけ多くの正常腎組織を残すことが推奨されています。また局所進行がんや転移があっても患側腎の摘除を行うことが腎細胞が

ん治療の原則で、時には下大静脈に進展した腫瘍塞栓を摘除するために外科・心臓血管外科と合同で手術を行います。腎細胞がんは術後10年以上経過しても再発・転移をする場合があります、長期にわたる観察が必要です。

切除不能・転移性腎細胞がんに対しては、近年、腫瘍の血管新生もしくは細胞増殖因子や栄養物質を標的とした分子標的薬（チロシンキナーゼ阻害剤とmTOR阻害剤）に加え、抗PD-1抗体による癌抗原特異的な免疫応答の維持によるがん免疫療法も行われるようになり、有効な治療の選択肢が増えて生存期間も延長しています。

今後もさらなる治療成績の向上に努めてまいります。

＜泌尿器科部長 吉弘 悟＞

【連載エッセイ】

救急部

救急部のご紹介

当院は救急告示病院として下関市の救急二次輪番病院の役割を果たしており、2017年1月1日からは日本救急医学会救急科専門医指定施設となりました。

救急部は中原部長を筆頭に、江口医長、尾中医長、川地医師と看護師9名で構成されており、患者さまに対して「安心の優しい医療」を提供することを基本方針として日々努めています。

当院では、救急・急変時対応の質の向上を目的に、救急部が中心となり毎月第1金曜日に講堂にて「救急シミュレーション」研修会を行っています。

開催当初は医師と看護師だけの参加しかありませんでしたが、昨年度には事務職も含む100名を越す多職種が参加、実践するまでの研修会に



救急部部长 中原 千尋 (左)
救急部師長 山口 香世 (右)
救急医療の現場で頑張っています！

なりました。今では、担当月になると「練習しますから蘇生用人形を貸して下さい。」と積極的に練習する姿が見受けられます。最近では病棟での急変においても、落ち着いた対応や確実な記録がされており、研修会の効果と救急部関係者一同喜んでおります。蘇生用人形も3体に加え、「たまき」「りんご」「さくら」と命名され、救急部の一員となりました。

時間や科を問わず対応する救急部は、緊急性を要求される緊張した部署ですが、反面、様々な科の医師との交流もでき、楽しい部署でもあります。これからも、宜しくお願い致します。

新任医師のご紹介！

4月から、当院で勤務しています。どうぞよろしくお願いたします。



腎臓内科
ちば ひろたね
千葉 弘胤



消化器内科
むらた まさき
村田 征喜



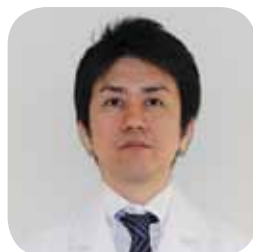
麻酔科
はら せいてつ
藪 惺哲



循環器内科
かじやま しょうた
梶山 渉太



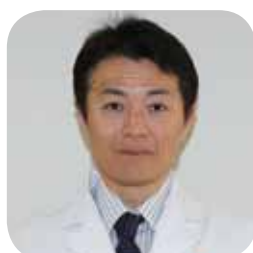
小児科
おかだ ゆうすけ
岡田 裕介



小児外科
ふくはら まさひろ
福原 雅弘



心臓血管外科
にし けんと
西 健斗



整形外科
のむら ひろし
野村 裕



整形外科
ふじい ゆうき
藤井 勇輝



整形外科
すぎ しゅうぞう
杉 修造



整形外科
つるい りょうすけ
鶴居 亮輔



整形外科
ふるかわ ひろし
古川 寛



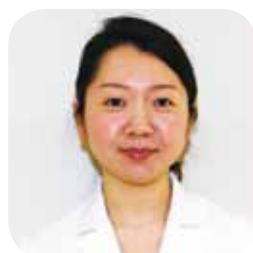
呼吸器外科
もり まさたか
森 将鷹



脳神経外科
いわき かつま
岩城 克馬



泌尿器科
まつくま はるか
松隈 悠



救急科
かわじ ひとみ
川地 眸



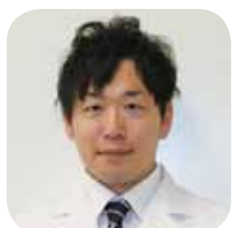
歯科・歯科口腔外科
うえはら まさたか
上原 雅隆



研修医
たつた ほなみ
立田 穂那実



研修医
おざ さしょうこ
小佐々 翔子



研修医
とくなが おさむ
徳永 修



研修医
にしだ ともや
西田 知也

新たに4名の研修医も迎えました！どうぞよろしくお願いたします。



リハビリテーション部副主任
ひらさだ ひろこ
平佐田 紘子

「作業療法士」の主な仕事内容を教えてください。

作業療法士とは、国家資格を持つリハビリテーションの専門家です。医師の指示の下、患者さまがその人らしい生活を送るために、食事・排泄・入浴などの日常生活に必要な動作練習や、家事・外出などが可能となるように応用的な練習、退院後の住環境への適応練習などを通して、機能回復・退院支援を行います。また、ご自宅に退院された後も、外来リハビリでのフォローも行っていきます。



▲日常生活に必要な応用練習をします。

当院の作業療法士は、主に脳卒中、頸椎の術後、股関節全置換術後の患者さまを担当しており、理学療法士、言語聴覚士、その他の職種のスタッフと情報共有し、早期リハビリテーションの充実・促進に努めています。

「リハビリテーション部」は、どのような職場ですか？

山下リハビリテーション部長（整形外科部長）の下、理学療法士17名、作業療法士5名（育児休暇取得1名）、言語聴覚士2名、助手2名の総勢27名で、外来・入院患者さまのリハビリを行っています。安部リハビリテーション部技師長をはじめ、明るく元気なスタッフが多く、チームワークの良さは、ピカイチです!!

仕事をしていく上で大切にしていることは何ですか？

患者さまが、今までどのような生活を送られていたのか、今後どのような生活を送りたいと考えておられるのかを一番大切にしています。

からの機能回復はもちろんですが、こころの面への支援も大切にしながら、ご家族の方にもリハビリの現状などをお伝えするように努めています。

休日の過ごし方や、最近ハマっていることを教えてください。

休日は、家の掃除をしていることが多いです。

天気が良いときは、近所の神社へ散歩に出かけたり、山登りにも行きます。市内の山であれば、四王司山や竜王山などに行きます。山で見かけた際は、声をかけてください。



▲私たち作業療法士は、「いつも明るく、元気に」をモットーに頑張っています。

認定看護師 だより Vol.15



皮膚・排泄ケア 認定看護師

ふじしげ じゅんこ
藤重 淳子

在院日数が短縮されている今日では、人工肛門を保有しているオストメイトの退院支援に介入することが多くなりました。オストメイトの望む生活が送れるよう、退院前から退院後に至るまで継続的に支援しています。昨今ではオストメイトの高齢化や家族構成の変化から、訪問看護や介護サービスなどを利用しながら、地域で生活するオストメイトが増えたと感じます。そのようなサービスの調整や関係者との連携も私の役割です。

人工肛門にまつわるトラブルは、お気軽にご相談下さい。

地域の皆さまの、頼りになる認定看護師になりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。



地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 病診連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861



あい ぜん かい

愛善会 いけだ整形外科

いけだ けいすけ

院長 池田 慶裕 先生

下関市立市民病院の先生方、病診連携室並びに関係者の方々には、平素より大変お世話になっております。

当院は、昨年7月に武久町におきまして新規開院いたしました。整形外科疾患をはじめ、MRI検査などで患者さんの御紹介をさせていただく際には、いつも快く迅速に対応していただきまして感謝の気持ち一杯です。受けた御恩に報いるべく、当院に御紹介いただいた折には、倍返しのご気持ちをもって患者さんの治療に当たらせていただきます。

「まちひと医療に愛をもって善を尽くす」これは当院のスローガンであり、地域に根差し、患者さんに寄り添い、心のこもった医療を提供できるようにと愛善の精神を持って日々努めて参りたいと思っております。

時には良かれと思った処置が勇足となり、患者さんに迷惑をかけてしまい、凹むこともありますが、これからも患者さんと密接に関わり、親切なお節介をして行ければと思っております。

最後に、下関市立市民病院の登録医として、さらなる研鑽を積み、患者さんをはじめ地域の皆様から信頼されるように頑張りますので、市民病院の皆様これからもどうぞよろしくお願い致します。

〒751-0833 下関市武久町2丁目4-3 TEL：083-252-3333 <整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科> 月～土：8：30～12：10、14：00～17：40（水・土：午前のみ）

医療法人 内山医院

うちやま かずとし

院長 内山 和俊 先生

内山医院の内山和俊と申します。下関市立市民病院の先生方、看護師さん、病診連携室の方々等には平素より大変お世話になっております。

また、緊急の患者さんの受け入れ要請にも関わらず、いつも対応していただきまことに有難うございます。

さて昨年9月に前院長（実兄）の急逝に伴い、院長として当医院を継承することとなりました。長い間、地域の方々に医療を提供している弊院を継承するにあたり、今後も可能な限り地域医療に尽くす所存です。

今後は、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症、糖尿病（II型）、単純性肥満等の生活習慣病を主体に、他の疾患の管理や御高齢の患者さんを中心としたフレイル状態の予防と改善も含めた管理など、地域の皆様にも少しでも貢献できれば幸いです。

開業医としては、まだ9ヶ月足らずの経験ですが、すこしずつこの環境に慣れていくようにしていきます。

今後とも患者さんのご紹介等で、貴院の先生方等にお世話になるとは思いますが、その時はどうぞ宜しくお願い申し上げます。

〒759-6612 下関市安岡駅前1丁目2-12 TEL：083-258-0109 <内科、循環器科>
月～土：9：00～12：00、15：00～18：00（木・土：午前のみ、受付は17：00迄、順番は7：15から取得可、土：担当医師の変更あり）

外来診療のご案内

2017年5月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科		曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科			具嶋 正樹/村田 征喜	山口 敢	具嶋 正樹	山口 敢	村田 征喜
内科・呼吸器内科			川端 宏樹(※)				花香 哲也(※)
内科・循環器内科			金子 武生/與田 俊介	金子 武生	安田 潮人	辛島 詠士	辛島 詠士/與田 俊介
禁煙外来(午後・予約制)					金子 武生		
内科・腎臓内科				坂井 尚二 中村 亜輝子	荒瀬 北斗(※)	坂井 尚二 午前:千葉 弘胤/午後:吉村 潤子(※)	前田 大登(※)
内科・血液内科				久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科			大田 俊一郎 柏戸 佑介(※)		大田 俊一郎 真弓 武仁(※)(午後)	福元 遼(※)	大田 俊一郎
糖尿病内分泌代謝内科(午前中)			江口 透	相良 理香子(※)	☆	☆	江口 透
甲状腺外来(午前中)			☆	☆	江口 透	☆	☆
内科					原田 由紀子		
渡航外来(予約制)							原田 由紀子
内科・胆膵外来			五十嵐 久人		五十嵐 久人		
神経内科(午前中・予約制)					本田 真也(※)		
精神科					中津 勇紀(※)		
消化管内視鏡			山口 敢	具嶋 正樹/村田 征喜	山口 敢	具嶋 正樹/村田 征喜	具嶋 正樹
胃透視				具嶋 正樹	村田 征喜		山口 敢
心臓血管外科				上野 安孝/木村 聡		上野 安孝/栗栖 和宏	
外科	午前		牧野 一郎 宮竹 英志	石光 寿幸 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	江口 大樹	石光 寿幸 大谷 和広
	午後		院長外来 (院外紹介)	乳腺外来 石光 寿幸		ストーマ外来(第2第4)	乳腺外来 ストーマ外来(新患)第2第4 石光 寿幸
呼吸器・感染症外来(呼吸器外科)			吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)				井上 政昭		井上 政昭/森 將鷹	井上 政昭(予約のみ)
小児外科			福原 雅弘(要相談)		福原 雅弘/九大派遣医師		
脳神経外科			中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/岩城 克馬	中村 隆治/尾中 貞夫		中村 隆治/尾中 貞夫 岩城 克馬(午後)
整形外科	再診		白澤 建藏 鶴居 亮輔(新患/再来)	渡邊 哲也/古川 寛(新患/再来) 藤井 勇輝	山下 彰久	原田 岳/橋川 和弘	野村 裕/杉 修造
	新患		橋川 和弘	野村 裕	白澤 建藏(紹介状必要) 原田 岳(紹介状必要) 藤井 勇輝	山下 彰久 杉 修造	渡邊 哲也 喜多 正孝(※)
皮膚科	一診(初診)		吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟
	二診(予約のみ)		松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠
眼科			石村 良嗣	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣
放射線診断科				箕田 俊文			
放射線治療科			有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子
小児科	午前 予約制	小児科	河野 祥二/岡田 裕介	河原 典子(※)	岡田 裕介	河原 典子(※)	東 良紘(※)/岡田 裕介
	午後 予約制	アレルギー		永田 良隆(新患)	河野 祥二		永田 良隆(再診)
		心身症				河野 祥二	
		健診・予防接種			河原 典子(※)/河野 祥二		河原 典子(※)/岡田 裕介
産婦人科	午前	一診	前田 博敬	川崎 憲欣	前田 博敬	前田 博敬	川崎 憲欣
	二診		川崎 憲欣(第2・第4のみ)		川崎 憲欣	前原 佳奈(※)	
		午後	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制) 母親学級(第2・第3)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)
疼痛外来 ペインクリニック内科			藤原 義樹		藤原 義樹		藤原 義樹
皮膚科			内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛	内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛 午後:手術	内田 寛 午後の外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科			平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 齊藤 雄一	平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 齊藤 雄一	平 俊明 齊藤 雄一
歯科・歯科口腔外科			上原 雅隆 入学 陽一(※)(予約のみ)	上原 雅隆 長畑 佐和子	上原 雅隆 高橋 理(※)	上原 雅隆 長畑 佐和子	上原 雅隆 入学 陽一(※)(予約のみ)
緩和ケア外来							牧野 一郎/午前中(予約制)
救急科(午前・午後)			中原 千尋/川地 眸	尾中 貞夫	中原 千尋/江口 大樹	中原 千尋/尾中 貞夫	中原 千尋/川地 眸

◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください)

◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第2月曜日13:00~15:00(第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)

◆渡航外来(要予約) 毎月第2・5金曜日は13:00~15:00



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号

TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838

ホームページアドレス <http://shimonosekicity-hosp.jp/>

病診連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力お願いします。